

# 日本山岳救助機構(jRO:ジロー)会員の皆様

## 2022年度事後分担金のご通知とご報告 および2021年事後分担金の精算についてのお知らせ

### ① 2022年度事後分担金のご通知 **200円**

#### ●会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払いをお願い申し上げます。

- 事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補てん金及び臨時費用補てん金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- 2022年度の計算期間は2022年1月1日から12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に1会員あたり200円の事後分担金のお支払いをお願い申し上げます。
- 団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日が2022年1月1日から12月31日の場合に、2022年の事後分担金のお支払いをお願いいたします。(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2022年に属していない場合でも、本会員開始日が2022年の場合には2022年事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします。)
- 事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- 計算方法についてはP2～4をご覧ください。

### ② 2021年補てん金額の確定による相殺(割引)額 **▲100円**

#### ●対象となるのは2022年のjRO会員、かつ2021年事後分担金をお支払い済みの会員の方です。

- 2021年度の事後分担金は200円と算出しましたが、2022年10月9日現在補てん金総額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2021年度補てん金総額を上回ったため、2021年事後分担金をお支払い済の方は▲100円を相殺(割引)させていただきます。

※注：2022年にjRO会員で、かつ2021年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行なうことができません。ご了承をお願いします。

- すでに退会済、または2022年はjRO会員でない方  
2022年度事後分担金のご案内および2023年度への更新ご案内がお送りできない場合等
- 2021年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方  
2021年は個人会員で2022年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- 2021年と2022年では、本会員が異なる方  
所属の団体を変更した場合、個人会員を退会后、家族会員として再入会等

#### ●各会員に関する金額の詳細は2022年度から2023年度への更新の案内をご参照ください。

#### ●2021年事後分担金の確定額計算については別紙2021年補てん金お支払い実績表(確定)をご参照ください。

**2022年のjRO会員、かつ2021年事後分担金をお支払い済みの方の2022年事後分担金は、1会員あたり100円(200円-100円=100円)となります。**

この件のお問い合わせはjROリエゾンセンターへお願いいたします。

# 2022年補てん金お支払い実績表(2022.1～8までの暫定値★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	下山中に千畳敷カール内で転倒し下肢を複雑骨折。警察ヘリにて病院に搬送される。中央アルプス地区遭対協の救助費用が発生。	負傷	¥19,250
1	福岡県 宝満山	2名で登山し、下山中に転倒して負傷(脱臼・骨折)。救助され防災ヘリにより病院に搬送。関係者駆けつけ費用、謝礼費用が発生。	負傷	¥6,900
1	新潟県 阿寺山	3人でスノーボードで下山中に雪崩に埋没。同行者に救助されたが意識がなく、数日後に警察ヘリにて収容。遺体搬送費が発生。	死亡	¥355,874
2	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	3人パーティ(内jRO会員2人)で爺ヶ岳東尾根を登り、赤岩尾根を下山中に道に迷い警察、遭対協により救助。3人で按分した捜索救助費用と遠隔地からの駆けつけ費用が発生。	負傷	¥229,763
			負傷	¥67,000
2	八ヶ岳連峰 天狗岳	単独で八ヶ岳連峰天狗岳に出かけ、下山中に低体温症に。諏訪地区山岳遭難防止対策協会により救助され、県警ヘリで病院に搬送。	負傷	¥88,400
2	岩手県 夏油高原スキー場	スキー場のツリーランエリア内でスノーボード中に、沢にできた穴に転落。スキー場パトロールによって救助される。救助費用が発生。	負傷	¥30,000
2	八ヶ岳連峰 美濃戸口	角木場沢でアイスクライミング中に、氷の崩落により全身打撲、右足首骨折。遭対協により救助され人力搬送後、諏訪中央病院に収容。	負傷	¥174,220
3	長野県 志賀寺子屋スキー場	スキー場内で衝突し転倒負傷。パトロールに救助され、ドクターヘリで病院に搬送。救助謝礼、関係者駆けつけ費用が発生。	負傷	¥61,570
3	埼玉県 両神山	両神山系滝沢内で下山中に、道迷いの後に滑落。3月30日に発見され死亡が確認される。家族の駆けつけ費用が発生。	死亡	¥50,000*
3	鳥取県 大山	6人グループで下山中、6合目付近でバランスを崩して滑落負傷。警察、遭対協により搬送。鳥取県山岳・SC協会遭対委に支払い発生。	負傷	¥50,220
3	石川県 白山	奥長倉で下山途中に滑落し遭難。民間救助隊の5回にわたる捜索の結果、3か月後の6月2日に遺体を発見、収容。	死亡	¥2,160,315
3	新潟県 東谷山	3名で山頂からスキー滑降中に転倒。右足を骨折し自力下山不可能に。新潟県警のヘリで救助。	負傷	¥60,840
4	八ヶ岳連峰 赤岳	文三郎尾根を3人で登山中、南峰リッジ取り付き付近で雪崩に流され埋没。茅野署救助隊、遭対協隊員らが捜索。翌日、発見され病院で死亡を確認。	死亡	¥841,491
4	八ヶ岳連峰 赤岳	地蔵尾根を下山中に雪に足をとられ、捻って骨折。茅野警察署、諏訪遭対協が出動し地上搬送。救助費用と謝礼費用が発生。	負傷	¥323,004
4	中央アルプス 空木岳	4月23日に単独で入山。3泊4日の予定であったが連絡がなく、捜索していた県警ヘリが発見。救助後に死亡を確認。遺体搬送費など。	死亡	¥300,000
4	奈良県 吉野 四寸岩山	単独で入山し行方不明に。警察による捜索が打ち切られた後、民間救助隊が捜索。5月16日、死亡が確認される。	死亡	¥800,000*

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
5	富山県 クズバ山	6人グループで山頂から下山途中、1480m付近の雪庇で滑落。富山県警ヘリにより病院に収容される。謝礼費用と駆けつけ費用が発生。	負傷	¥40,060
5	福島県 会津駒ヶ岳	滝沢登山口ルートを下山中に、1650m付近でルートを外れ、トラバース中に滑落し骨折。檜枝岐村遭対協救助隊の救助費用が発生。	負傷	¥22,000*
5	北アルプス 西穂高岳	山岳会員3名で西穂山荘から下山中に急坂で右足首を捻挫および骨折。警察による人力搬送で病院に収容。会員の駆けつけ費用が発生。	負傷	¥23,323
5	北アルプス 前穂高岳	2900m付近から300m滑落し、岩と雪の間に落下。同行者が引き上げて岳沢小屋に1泊したが、歩行不能のためヘリで搬送される。	負傷	¥91,953
5	北アルプス 常念岳	常念岳東側の沢で、沢を誤って詰め雪渓で滑落。北アルプス南部地区遭対協に救助要請したうえで自力下山。	特になし	¥110,973
6	北アルプス 白馬岳	白馬大雪渓を下山中、2200m付近でシリセードに失敗し負傷。長野県警ヘリにて救助。北アルプス北部地区遭対協からの請求が発生。	負傷	¥163,220
6	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	下山中に雪渓で滑落し負傷。当日は現地ではビバークし、翌朝、長野県警ヘリで救助される。遭対協職員3名が出動。	負傷	¥164,220
6	山形県 飯豊山	登山道から滑落し、約40m下の岩場で登山者により発見。防災ヘリで病院搬送後、脳挫傷による死亡を確認。遭対協隊員7名が出動。	死亡	¥135,440
6	八ヶ岳連峰 稲子岳	稲子岳南壁左カンをクライミング中に同行者が滑落。動揺により下山困難に。警察ヘリや遭対協隊員7名の出動により救助される。	負傷	¥100,000*
6	北海道 小樽赤岩	クライミング中に滑落して脳挫傷、脊椎骨折、足首捻挫。ドクターヘリで収容。駆けつけ費用他が発生予定。	負傷	¥100,000*
7	北アルプス 小遠見山	遠見尾根を下山中、ガスと雨で道に迷い、110番通報にて救助要請し救助される。北アルプス北部遭対協への支払いが発生。	負傷	¥123,480
7	北アルプス 間ノ岳	単独で上高地～西穂高岳～奥穂高岳を登山中に行方不明に。7月20日岐阜県警ヘリにより間ノ岳北北西100m約地点で発見、死亡を確認。	死亡	¥162,130
7	北アルプス 北穂高岳	南稜鎖場付近で岩にかけた足が15cmほど下にずれ、左肩が岩に当たり肩を脱臼、骨折。遭難対策協議会からの請求が発生。	負傷	¥137,907
7	北アルプス 北穂高岳	北穂高東稜取り付き付近で、先行パーティ起因の落石（岩雪崩）を受けて滑落。ヘリコプターにより病院に搬送。	負傷	¥350,000*
7	北アルプス 北穂高岳	北穂高から涸沢に下山中、岩場で転倒し肩を骨折。北アルプス南部地区常駐隊に救助された費用が発生。	負傷	¥150,000*
7	北アルプス 劔岳	単独で劔岳八ツ峰を登攀中、7峰と8峰の科尔付近で約10m滑落。富山県警ヘリにて捜索し、搬送後、死亡が確認される。	死亡	¥500,000*
7	丹沢 箱根屋沢	山岳会の仲間4人と一緒に沢登り中、滝で12メートル下に滑落。頭を強く打つなどして死亡。神奈川県警により病院に搬送。	死亡	¥30,000*

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
7	北海道 知床 斜里岳	斜里岳、万丈の滝近くを渡渉中に滑落。頭部外傷、鎖骨他骨折などで救助要請。警察、消防の救助隊によりヘリ搬送。謝礼費用が発生。	負傷	¥18,910
7	熊本県 八代市の沢	沢登り中に大岩に手をかけた瞬間に岩が直撃、バランスを崩して10m滑落、負傷。	負傷	¥50,000*
8	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	甲斐駒ヶ岳から駒津峰方面へ下山中、足を滑らせて小岩につまづき前のめりに転倒。南アルプス北部地区遭対協の救助費用が発生。	負傷	¥200,000*
8	北アルプス 穂高岳	長谷川ピーク付近を通過中、何らかのアクシデントがあり、足を滑らせて転落、滑落死亡。	死亡	¥350,000*
8	北アルプス 槍ヶ岳	槍ヶ岳から東鎌尾根を下山中、岩の上の小石に乗り転倒。防災ヘリで病院に収容される。北アルプス南部地区遭対協への支払いが発生。	負傷	¥100,000*
8	中央アルプス 檜尾岳	両足痙攣硬直で歩行不能となり、休憩後下山する旨を小屋に連絡、救助要請する。救助隊と合流し下山。	特になし	¥200,000*
8	奥秩父 豆焼沢	8月8日、沢で登山者がザックを発見。その後埼玉県警の捜索で遺体を発見収容。遺体搬送費を予定。	死亡	¥200,000*

<b>総額(9/14現在)【支払額★未請求(見込)額】</b>	A	¥9,142,463
<b>推計値(9/14現在未報告案件及び以降発生案件に対応するため。下記参照)</b>	B	¥16,500,000
<b>2022事後分担金算出の基礎数字(事後分担金計算式の分子) A+B</b>	C	¥25,642,463
<b>2022会員総数(決済エラー無し会員総数)</b>	D	130,000名
<b>2022事後分担金 C÷D=¥197(左記の端数を切り上げEとした)</b>	E	¥200

### ◎推計値(B欄¥16,500,000円)の算出について

- 一般的に12月には遭難が他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても例えば2020年は5件、2019年は4件、2018年は5件、2017年は2件、2016年は4件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。2012年の場合は、長期にわたる捜索活動を必要とする事案が発生しました。また、JRO会員数は2009年末を例とすると会員数約1万名に比べて、本年度は10.1倍の会員数(約10.1万名)となり、事故件数はそのまま比例するとはならないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1か月以上かかるケースが多く、また10月までの未報告案件のあることも加え、2022年9月現在のコロナ禍の特殊な状況も考慮する必要があります。
- B欄16,500,000円という推計値は前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2022年の補てん金額の確定は2023年10月中旬を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 別紙に2021年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。